



泉田裕彦衆議院議員の アマチュア無線ライフを聞く

聞き手：高尾義則 JARL会長

日本の広域自治体である都道府県のトップは都道府県知事ですが、今から約4年前、JARLの記念局をオペレート、パイルアップを見事に裁いていた、当時現職の県知事がいらした事をご存知の方も多いいことと思います

7K1KJK 泉田裕彦 現衆議院議員、JARLの会員でもあります。2015年の当時、泉田議員は新潟県知事として敏腕を振るっていたちょうどその頃、地元のアマチュア無線クラブ等からの呼びかけ等で2局の特別局を訪問し、見事なオペレートでパイルアップを裁いていたことは、当時地元のマスコミなどでも大いに話題に

なりました。

泉田衆議院議員は新潟県加茂市の出身。京都大学から通商産業省(経済産業省)を経て、新潟県知事を3期12年務めた後、衆議院議員に就任され現在に至っています。

今回はその泉田衆議院議員をJARL高尾義則会長がおたずねし、泉田議員のアマチュア無線ライフ等について興味深いお話をうかがうことができましたので、皆様にもご紹介いたします。

★

★

高尾会長 「本日は公務のご多忙中、お時間を



▲2015年2月8N0E7K運用の様子

割いていただきありがとうございます。泉田議員には、JARLのアイボールミーティングなどにも積極的にご参加いただきましてありがとうございます」

泉田議員 「どういたしまして。私自身、根っからのアマチュア無線大好き人間ですので、アイボールミーティングのようなアマチュア無線家の歓談の場は大好きです」

高尾会長 「昨年12月のアイボールミーティングでは、2局の特別局のオペレートにまつわるお話しをおうかがいしましたが、あらためてご紹介いただけますか」

泉田議員 「多くの方々からコールしていただける記念局の運用はとても楽しいものです。最初の記念局運用は2015年2月に、北陸新幹線長野-金沢間開業特別局8N0E7Kです。開業を間近に控えた「上越妙高駅コンコース」で特別局の記念運用がおこなわれるという話を地元紙の新潟日報で見かけたのです。この記念運用は地元の振興に役立つ素晴らしい催事ではないかと思いましたので、知事として運用の場に参加させていただくこととしたのですが、その実は“せっかく記念局に伺うのですからアマチュア無線家として自分自身も記念局の運用を楽しんでしまおう”という本音もありました(笑)」

高尾会長 「このときの運用の際はパイルになっていたとおうかがいしましたが?」

泉田議員 「そうです。7MHz帯で運用したのですが久々のパイルアップでした。たいへん開局当時声変わり前でYL局と間違えられた頃以来でした(笑)。この日の運用では短時間ではありますが31局と交信させていただきました。

次にオペレートさせていただいたのは、同年



▲2018年12月のアイボールミーティングでのJARL高尾会長(JG1KTC)と泉田議員(7K1KJK)の歓談風景

4月の妙高市誕生10周年特別局8N0MYOKOです。この運用は地元のアマチュア無線家よりこの運用の際は、地元のアマチュア無線クラブから“ぜひ運用しに来て欲しい”とご招待をいただき参加させていただいたものです」

高尾会長 「このときも、“新潟県知事がパイルアップを裁く!”と大きな話題になりましたね」

泉田議員 「そうです(笑)。たいへん多くの方から呼ばれる無線は本当に楽しいものです。今後も記念局の運用のチャンスがあれば、参加してみたい気持ちが大いにありますよ」

●アマチュア無線の免許を取ったきっかけやエピソード

高尾会長 「記念局運用にまつわる楽しいお話しありがとうございます。ところで、泉田議



▲趣味のアマチュア無線について笑顔で語る、泉田議員(7K1KJK)

員がアマチュア無線の免許取得したきっかけなどについて教えていただけますか」

泉田議員 「以前は“趣味の王様”・“王様のCQ”と呼ばれたこともあるアマチュア無線は、自分にとって小さい頃のあこがれの趣味でした。アマチュア無線の免許は長野県の国家試験会場に出かけて小学校6年生の時に取りました。」

高尾会長 「開局当時のエピソードなどを紹介してください」

泉田議員 「アマチュア局JH0CPAを開局したばかりの頃、無線機はトリオ(現在のJVCケンウッド)のTS-520でした。当時は送受信セパレートの八重洲無線の101シリーズ(FL-101/FR-101)にもあこがれましたね。ちなみにTS-520は現在もメインリグとして使っています。以前、保守用のファイナル球(終段真空管)S2001を探しに秋葉原に出かけましたが、このときは見つからなかったので、代替用の6146Bを購入してきましたよ」(編注：トリオのTS-520や八重洲無線の101シリーズは1970年代に人気を集めたHF機です)

高尾会長 「S2001, 6146Bですか? かなり懐かしいですね」

泉田議員 「運用は21MHz帯がメインでした。当時は声を出すとすぐにコールバックが返ってくる7MHz帯に少々恐怖心を覚えていたのですが、21MHz帯でも声を出すと不思議とパイルアップになりました。なぜかと考えましたが、どうやらこの頃は声変わり前でしたので相手局にはYL局の声のように聞こえていたようです(笑)」



▲アマチュア無線, JARLの将来を熱く語りあう泉田議員(7K1KJK)とJARL高尾会長(JG1KTC)

高尾会長 「ちょうどソーラーサイクル21の真っ只中ですから、21MHz帯も大いに賑わっていた時代ですね」

泉田議員 「アマチュア無線に夢中になっていた中学2年になったころ、両親からアマチュア無線禁止令(!?)が発令されたのですよ」

高尾会長 「ひょっとして、成績が下がったから?ですか(笑)」

泉田議員 「ご名答, その通りです(大笑)。アマチュア無線禁止令下で無事高校入試を乗り切り、高校ではすぐ「物理部」に入部しました。その目的はもちろん「アマチュア無線」です。物理部の仲間とは、学校の校庭で、徹夜でコンテストに参加したりし、学業の話はともかく存分にアマチュア無線を楽しみました」

高尾会長 「全面禁止だったアマチュア無線の解禁でまさに楽しさ全開と言うことですね」

泉田議員 「中学時代の禁止の反動とでもいのでしょうか(大笑)。その後、大学でもアマチュア無線クラブに所属しまして、当時はJJ3OZNのコールサインで移動運用を中心に楽しみ、「移動するとこんなに楽しめる」を実感し、さらに電波を遠くに飛ばしたくて電信級の免許を取ったのもちょうどこの頃です。そして2アマは就職してからの取得です」

高尾会長 「高校から大学まで、学業はともかくある意味アマチュア無線三昧というワケだったのですね。またコンテストや移動運用は私も大好きですから全くの同感ですね」

高尾会長 「泉田議員にとってアマチュア無線の素晴らしさとは何でしょうか」

泉田議員 「私の場合、子供の頃アマチュア無線をはじめ物理に興味を持ちました。それが、その後の学業に通じていきました。アマチュア無線を通じての物事との出会いは、さまざまな興味をも引き出してくれます。アマチュア無線は特に理系に感心をもつ若い年代のみなさんにもぜひオススメしたい趣味であると思いますね」

高尾会長 「おっしゃる通りですね。ぜひアマチュア無線から理系にステップアップしてほしいですね。」

●アマチュア無線界, JARLへの期待

高尾会長 「毎年5月5日のこどもの日には、国立極地研究所の支援を得て, JARL南極局



▲ムセン談義に花が咲き、対談は終始和やかに進んだ



8J1RLの特別運用を実施しています。8J1RLは今年も5月5日に特別運用を実施しましたが、9名の小中高校生がJARL中央局JA1RLに集まり、8J1RLとの交信に挑戦しました。21MHz帯での交信の可否が危惧されましたが、奇跡的なコンディション変化に恵まれて交信に成功し9名の子供たちは大喜びで交信会場を後にしました。JARLでは、近年このような青少年に向けたアマチュア無線への興味を啓発する活動等に積極的に取り組んでいます」

泉田議員 「それは素晴らしいことです。先ほどもお話ししましたが、私のアマチュア無線ライフはHFの21MHz帯からスタートしています。その後、V/UHF帯各バンドでも運用しましたが、子供たちにアマチュア無線のおもしろさや醍醐味を実体験してもらうのであれば、やっぱりHF帯の交信の右に出るものはない気がします。いつ、どこと、だれと交信できるか分からないスリリングさは、子供たちにアマチュア無線への興味を抱かせる最高の素材ですね。JARLには全国各地で同様な機会や場を数多く提供してゆくことにチャレンジしていただきたいですね」

高尾会長 「貴重なご意見ありがとうございます。近年のJARLでは若いハムの育成と併行して、女性アマチュア無線家の活躍を支援する活動にも積極的に取り組んでいます。ハムフェアの小・中・高校生・大学生(22歳未満)、女性の入場料無料化です。アマチュア無線人口としては絶対数が少ない女性ハムですが、より一層活躍の場を広げて、新たな女

性ハム仲間を育てていただきたいというのがJARLの願いです」

泉田議員 「“働く女性”の例に漏れず今や女性がさまざまなシーンで大活躍する時代です。アマチュア無線の世界も多くのYLさんに活躍していただき、また多くのYL局の誕生につながっていただきたいものですね」

●特別記念局でまたお会いしましょう

高尾会長 「ところで今後、東京オリンピック、日本万国博覧会2025など、国際色豊かな数々の催事の開催が予定されています。JARLでは国際色豊かな各催事のPRを内外のハムに向けておこなう特別記念局の開設を計画しています。この特別記念局は海外から来訪するアマチュア無線家の方にも運用していただける局とする計画ですが、泉田議員におきましても各記念局の開設・運用にぜひご支援・ご協力をいただきたく思います」

泉田議員 「わかりました。私の力が及ぶ範囲内でのご協力は惜しみません」

高尾会長 「ありがとうございます。そして記念局開局の折には、お時間がいただけるのであればぜひ記念局にお越しただいて、開局式と4年前の2局の特別局と同様にパイルアップを満喫していただければと思います。新潟県知事時代と同様、“パイルアップを裁く国會議員”として(笑)」

泉田議員 「そうですね。機会があればぜひ……」(大笑)

高尾会長 「本日はたいへんお忙しい中、ありがとうございます。ありがとうございました。」